

令和5年度 福岡市城南保健所運営協議会 議事録

○日 時 令和5年8月30日(水) 16:30~18:02

○場 所 城南保健所1階 講堂

○出席者 井上委員 岩崎委員 岡本委員 小田委員 勝山委員
川本委員 桑原委員 新宮委員 菅委員 園山委員
中島委員 西村委員 松野委員 水城委員 門田委員
龍頭委員 (以上16名、五十音順)
(欠席者 小沢委員 下田委員 長委員)

※事務局 執行保健所長
肥前健康課長 山口衛生課長 鶴田地域保健福祉課長

※傍聴者 なし

○議題等

【議題1 会長及び副会長の選出】

●会長に岩崎委員、副会長に松野委員が選出された。

【議題2 令和4年度事業報告】

●肥前健康課長、鶴田地域保健福祉課長、山口衛生課長より説明した。

〈質疑応答等〉

委員) 資料P15③母子健康教育・相談、育児支援等
「乳児家庭全戸訪問事業」のなかでDV等リスクのある人は何件か。また、どう
いう連携を取ったのか教えてほしい。

事務局) 乳児家庭全戸訪問事業に関しては、健康課が実施している事業の件数を挙げて
いる。DV等リスクのある案件については、地域保健福祉課、子育て支援課及
び健康課の三課で連携して担当している。
子育て支援課が直接訪問することもあり、その件数はこの中に入っていない。

委員) 特にそういう問題はなかったということか。

事務局) 訪問した中で何か気付きがあれば、これまでの状況を確認し今後必要なサービ
スなどについて、ご案内できるよう三課で連携して取り組んでいる。

委員) 資料P14②乳幼児健診
「3歳児健診」で弱視を発見する屈折検査機器の導入が8月から始まったと思
うが状況等を教えてほしい。

事務局) 機器の導入が少し遅れており、本格的には来月から実施する。8月は、これまで検査していない方5件の検査を行った。それほど多くない状況である。9月以降は、健診時に対応する。

委員) 資料P15③母子健康教育・相談、育児支援等
「不妊に悩む方への特定治療支援事業」のなかで、4年度が3年度の約4分の1に少なくなっている要因を教えてください。

事務局) 令和4年4月から不妊治療が保険適応になった。助成制度は令和3年度に終了し、4年度は治療を続けた方の経過措置の分なので件数は少ない。

【議題3 令和5年度の取り組み（重点事業）】

●肥前健康課長、山口衛生課長、鶴田地域保健福祉課長より説明した。

〈質疑応答等〉

委員) P30(3)医薬務業務①医療機関の監視指導
サイバーセキュリティについて、保健所でどの程度まで監視しているのか。

事務局) サイバーセキュリティ対策が義務化され、チェックリストの確認、緊急連絡網が作成されているかの確認をしている。

委員) アンケート形式のチェックリストを送って、それを回収して、不備があるところに指導に行くという理解で良いか。

事務局) チェックリストは事前に渡してチェックしてもらうが、確認内容が重くないので、各事業者が確実にできているかのチェックが入っていることを確認している。

委員) 今年度、医療機関の立ち入り資料の送付があり、確認したところ、サイバーセキュリティに関する調査項目が詳細で種類が多い。これを全部読み込んでいくのは困難である。立入対象になった30の医療機関に配布したのか、それとも他の医療機関にも配布したのか。立ち入り検査が始まる直前にチェックリストの送付があって、会員からクレームが来た。すべて対応するのは不可能ではないかという厳しい文面もあったので、もう少し時間をいただきたい。サイバーセキュリティは全く新しい概念ですぐには対応できない。電子カルテ等を使って、レセプト請求するが、無床診療所では、半分程度しか電子化されていない。紙カルテのままやっているので、対応が馴染まないと思う。丁寧なご指導をお願いしたい。

事務局) 貴重なご意見ありがとうございました。
資料の送付が直前になってしまったことを申し訳なく思っている。このチェックリストの送付は、今年度立入対象の施設についてのみである。今後、立入対象でない施設に対する周知の仕方を考えていきたい。

委員) 国の方針では、カルテの電子化を義務化するという方向に進んでいる。セキュリティ対策は大切だが、実際、電子化するにあたってはかなりの費用がかかる。また、助成金は出ない。多くの小規模無床診療所の院長は高齢であり、今後どう対応するか、閉院という動きもここ3年間で見られている。閉院になった医療機関は、高齢者の一人院長の診療所が多い。丁寧なご指導をいただけないとなかなかついていけない先生方も多いと思うのでよろしくお願ひしたい。

事務局) ご意見ありがとうございます。

委員) サイバーセキュリティの関係で、質問ではなくご紹介をさせてもらおう。十数年前サイバーセキュリティを担当する部署に勤務していた。サイバー攻撃で企業を狙う犯罪はあっていた。サイバー攻撃を受けた病院に行くと、システムの欠陥、パスワードの設定等、些細なセキュリティの甘さが原因であり、サイバーセキュリティに対する認識が必要であると感じた。サイバーセキュリティと言ってもわかりにくく、お金もかかるので、何をすれば良いのかと質問がある。県警本部に、サイバー攻撃に対する開発部門があり、その部門が民間の企業や医療機関へ講演やアドバイスを行っているので、県警の方に依頼してほしい。何かしら力になれると思う。

【報告事項 新型コロナウイルス感染症について】

●肥前健康課長より説明した。

〈意見等〉

委員) 過去の振り返りができる現状になった。5類になったが、コロナが軽い症状になり患者が少なくなったわけではない。これからどう付きあっていくか保健所や医療機関で取り組む課題は多いと考える。

委員) 高齢者や施設での感染、基礎疾患を持っている人の家庭内感染が、お盆辺り若干増えた。入院手配にG-MISを使っているが、一人1時間以上かかっている状況である。若い人は1日熱がでて風邪程度で終わるので、5,000円位かかる検査を拒否する人もいる。ワクチン接種もしていないので、感染を拡げさせることもあり、まだまだ、油断しないよう注意が必要である。